

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成30年11月6日（火） 10時～12時
場 所	ゆのまえ温泉 湯楽里（大広間）
目 的	平成30年度 上球磨町村議会議員研修会

報 告 の 内 容	<p>講師：長崎県小値賀町議会議長 <small>たていし りゅうきょう</small> 立石 隆教 氏</p> <p>演題：議会機能の使い道と議会の立ち位置の有効活用 ～小さな離島の大きな挑戦～</p>
	<p>1. 研修内容</p> <p>主な講演内容は以下のとおり。</p> <p>(1) 議会改革への道程</p> <p>(2) 具体的な小値賀町議会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎議会版総合計画の策定 ◎債権管理条例の制定 ◎模擬公聴会の開催 ◎議員報酬特別条例の制定 <p>2. 所感（※議会・議員として、どう関わるか）</p> <p>(1) 総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小値賀町の議会改革に熱意を感じた。本町議員も議会活動に熱意を持た

ないといけない。

- ・首長は、二元代表制を理解し、議会を利用しないといけない。
- ・小値賀町議会の出前会議は不要と感じた。本来あるべき議員活動で住民意見を収集し、そのアウトプットを議会だよりや個人の活動報告で対応したほうがよい。

(2) 本町議会の現状

<良い点>

- ・9月に導入した関連質問は、小値賀町議会の模擬公聴会よりも有効な手段。(議員は住民の代表者)
- ・常任委員会の開催数は、他の自治体に劣らない。

<問題点>

- ・本町議会は、どちらかといえばチェック機能重視(受け身)の議会。
- ・議会改革は道半ば。改革すべき事案がまだまだある。
- ・首長にビジョンや政策への強い想いがなく、二元代表制(議会調整)がうまく機能していない。
- ・公の議員間討議が少ない。
- ・議会基本条例がない。住民、執行機関、議員に対して、議会活動の基本方針が示されていない。
- ・平成29年度の議会改革調査特別委員会で議題になった議員報酬の見直しは、議会改革と他自治体の動向を踏まえて先送りしている。
- ・本町議会に対する住民の関心度はまだまだ低い。議会放送、議会だよりなどで改善中。

(3) 今後の対応

特別委員会や全員協議会などで議会改革を継続しなければならない。

本町の課題を以下に示す。

- 議会基本条例の制定
- “一般質問や質疑”直後の議員間討議
- タブレット端末による議会運営の効率化
- “議会中継録画や会議録おこし”の民間委託(町内事業者)
- 町課題の情報共有
- 議員報酬の見直し(仕事の対価を支給)
 - >議会だより編集長の負担は大きい。
- 首長(執行部)への政策提案
 - >その前に議員と首長の意識改革が必要
- 議会に対する住民意識の向上